



躍動感あふれる演舞で観客を魅了
第4回うるま市エイサーまつり開催

9月12、13日の両日、市与那城総合公園陸上競技場で、第4回うるま市エイサーまつり（同実行委員会主催）が開催され、市内の保育園児、子ども会、青年会など21団体が出演し、躍動感あふれる演舞を披露。

会場には、エイサーの本場「うるまのエイサー」を一目見ようと、県内外から多くの観客（2日間で約6万5千人：主催者発表）が訪れ、会場は熱気に包まれました。

観客は、子どもたちの演舞に微笑み、青年たちが繰り広げる隊列の変化や一糸乱れぬバチさばきに魅了され、その見事な演舞に大きな歓声を送っていました。



「うるま」の前で
演舞する江洲青年会

9月6日、市青年連合会が、市内2か所でエイサーを披露しながら飲酒運転根絶を呼びかける啓発活動を行いました。

当日は、12の青年会が出演し多くの人が集まりました。演舞の間には、飲酒運転根絶メッセージの読み上げやチラシ配布を行い、飲酒運転を無くそうと訴えました。

